

2 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要

○2008/09年度の大豆需給（予測）のポイント

大豆の供給面では、昨年度にとうもろこしへの作付転換により縮小した米国の作付けが、大豆価格の高騰やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大する見込みであり、世界の生産量も増加が見込まれている。

需要面では、中国、アルゼンチン等で搾油用需要を中心に拡大し、世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量と消費量が均衡し前年度と同水準となるものの、消費量の増加から期末在庫率は前年より低下すると見込まれる。

【生産量】

生産量は、インド等で減少するものの、世界第1位の生産国で主要輸出国である米国の作付け拡大などから、世界全体では前年度より19.0百万トン増加（8.7%）し、237.8百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で2.9百万トン下方修正されており、国別には米国が中西部の作付期の洪水の影響などから下方修正された。

【消費量】

消費量は、EU、インド等で減少するものの、中国、アルゼンチン等で搾油需要を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より5.7百万トン増加（2.4%）し、237.9百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.6百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチン、米国、ブラジル等が下方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量（輸出量）は、前年度並みの76.3百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では米国で輸出量の減少が、ブラジルで増加が見込まれている。一方、輸入国では、貿易量の4割強を輸入する中国でさらに輸入量の増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で変わらず、国別には米国の輸入量が下方修正され、アルゼンチンの輸入量が上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量と消費量が均衡することから世界全体では前年度と同水準の48.9百万トンとなるものの、消費量が増加していることから期末在庫率は20.5%に低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.5百万トン下方修正されており、国別には米国、ブラジルが下方修正された。

表-1 世界の大豆需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	236.6	218.8	237.8	▲ 2.9	8.7
米国	86.8	70.4	81.6	▲ 2.9	16.0
ブラジル	59.0	61.0	64.0	-	4.9
アルゼンチン	48.8	47.0	48.0	-	2.1
中国	15.2	13.5	16.0	-	18.5
インド	7.7	9.3	8.7	-	▲ 6.5
パラグアイ	6.2	6.8	7.2	-	5.9
カナダ	3.5	2.7	3.1	-	13.3
消費量	225.3	232.2	237.9	▲ 1.6	2.4
うち搾油用	196.1	205.1	207.3	▲ 1.0	1.1
米国	53.2	51.7	54.3	▲ 0.5	5.1
中国	45.4	48.4	51.1	-	5.4
アルゼンチン	35.1	37.6	38.7	▲ 0.8	3.0
ブラジル	34.0	35.5	35.5	▲ 0.3	0.1
EU-27	16.1	16.1	15.0	-	▲ 7.0
インド	7.7	9.2	8.7	-	▲ 5.3
日本	4.3	4.3	4.3	▲ 0.1	0.0
貿易量	71.3	76.2	76.3	▲ 0.0	0.1
(輸出)					
米国	30.4	31.2	27.2	▲ 1.4	▲ 12.7
ブラジル	23.5	25.2	28.9	0.3	14.5
アルゼンチン	9.6	12.2	12.2	1.1	0.0
パラグアイ	4.2	4.4	4.6	-	4.9
カナダ	1.7	1.7	1.6	-	▲ 5.8
(輸入)					
中国	28.7	34.4	35.5	-	3.2
EU-27	15.3	15.3	14.2	▲ 0.0	▲ 7.5
日本	4.1	4.1	4.1	▲ 0.0	0.0
メキシコ	3.9	3.9	3.6	-	▲ 5.5
アルゼンチン	2.0	2.5	2.7	0.2	8.2
台湾	2.4	2.3	2.4	▲ 0.1	6.7
タイ	1.5	1.6	1.7	0.1	3.1
期末在庫量	62.5	48.8	48.9	▲ 1.5	0.1
アルゼンチン	22.6	22.2	22.0	▲ 0.0	▲ 1.3
ブラジル	18.3	18.8	18.6	▲ 0.6	▲ 1.0
米国	15.6	3.4	3.8	▲ 1.0	11.5
中国	2.7	1.8	1.9	0.0	4.2
EU-27	1.1	1.0	0.9	0.0	▲ 9.2
期末在庫率	27.7%	21.0%	20.5%	▲ 0.5	▲ 0.5

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」,
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」
「World Agricultural Production (July 2008)」

(2) 大豆の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、主産地である中西部での天候不順による影響が懸念されるものの、昨年度に大幅に縮小した作付けが大豆価格高騰等やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大する見込であり、前年度より11.3百万トン増加（16.0%）し、81.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用の消費は減少するものの、他の分野での消費量の増加が見込まれることから前年度より2.6百万トン増加（5.1%）し、54.3百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量は増加するものの在庫水準が低下していることやブラジルの輸出量増加などから、4.0百万トン減少（▲12.7%）し、27.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は0.4百万トン増加（11.5%）と積み増しされ3.8百万トンとなるものの、期末在庫率は4.7%（0.6ポイント増）と引き続き低水準となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、中西部の作付期の洪水の影響等で生産量が2.8百万トン下方修正され、輸出量は南米へのシフトで1.4百万トン下方修正されており、期末在庫量も1.0百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国の大豆の主要18州の生育進捗状況については、45%が開花期を迎えている。天候不順による作付けの遅れなど生育は遅れており、開花率は過去5年の平均に比べ20ポイント（前年に比べ25ポイント）ほど進捗が遅れている。

作柄については、優良が12%と前年度の同時期や最終に比べ低くなっているものの、優良～普通までの合計では89%と前年度の最終の83%を上回っている。

なお、主要産地の中西部では、6月上旬に低気圧と前線の影響で平年の3～11倍の降雨があり、特にアイオワ、ミズーリ、イリノイ各州にまたがってミシシッピ川が氾濫するなど大規模な洪水が発生し、ほ場の冠水などの作物被害をもたらした。

7月からは、大豆にとって望ましい天候で推移しているが、生育の遅れがみられることから、中西部などの今後の天候に注視が必要である。

我が国の輸入先国シェア 1位（2007年数量ベース79.9%）
世界の生産量シェア 1位（2008/09年度34.3%）
輸出量シェア 2位（2008/09年度35.7%）

表－2 米国の大豆需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	86.8	70.4	81.6	▲ 2.9	16.0
消費量	53.2	51.7	54.3	▲ 0.5	5.1
うち搾油用	49.2	50.1	49.8	▲ 0.3	▲ 0.6
輸出量	30.4	31.2	27.2	▲ 1.4	▲ 12.7
輸入量	0.3	0.3	0.3	0.1	0.0
期末在庫量	15.6	3.4	3.8	▲ 1.0	11.5
期末在庫率	18.7%	4.1%	4.7%	▲ 1.0	0.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	30.19	25.42	29.19	▲ 0.68	14.8
単収(t/ha)	2.87	2.77	2.80	▲ 0.03	1.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」

○ 米国大豆の生育進捗状況及び作柄（7月20日現在）

〔生育進捗状況〕

開花率 45%（平年差：▲20 p、前年差：▲25 p）

〔作柄〕

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
大豆	2008/09	12	49	28	8	3
	前年度同時期	13	48	28	8	3
	前年度最終	14	43	26	11	6

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

イ ブラジル

【需給状況】

ブラジルの生産量は、リアル高や厳しい経営が続いているが、価格高騰による作付け拡大などから前年度より3.0百万トン増加（4.9%）し、64.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の35.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より3.7百万トン増加（14.5%）し、28.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン減少（▲1.0%）し、18.6百万トンとなり期末在庫率も28.9%（2.1ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、原油価格の高騰によるバイオディーゼル原料としての油糧種子の需要増大による輸出拡大などから、消費量を0.3百万トン下方修正し、輸出量を0.3百万トン上方修正した。2007/08年度の輸出量も上方修正したことにより、2008/09年度の期末在庫量を0.6百万トン下方修正した。

【生育進捗状況及び作柄】

ブラジルの大豆の作付けは、10月下旬頃から始まる。

なお、2007/08年度は、一部地域でラニーニャ現象による降水量の減少や大豆さび病の発生等があったが、生産には大きな影響を及ぼさなかった。

ウ カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、昨年度に低下した単収が回復する見込みであることから、前年度より0.4百万トン増加（13.3%）し、3.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の1.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量が回復するものの在庫水準が低水準にあることなどから0.1百万トン減少（▲5.8%）し、1.6百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年と同水準の0.2百万トンとなり、期末在庫率は6.4%（1.7ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

我が国の輸入先国シェア 2位（2007年数量ベース 8.8%）
世界の生産量シェア 2位（2008/09年度26.9%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度37.8%）

表-3 ブラジルの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	59.0	61.0	64.0 (62.9)	-	4.9
消費量	34.0	35.5	35.5 ...	▲ 0.3	0.1
うち搾油用	31.1	32.5	32.5 ...	-	0.0
輸出量	23.5	25.2	28.9 ...	0.3	14.5
輸入量	0.1	0.2	0.2 ...	▲ 0.0	6.7
期末在庫量	18.3	18.8	18.6 (22.9)	▲ 0.6	▲ 1.0
期末在庫率	31.8%	31.0%	28.9% ...	▲ 0.9	▲ 2.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	20.70	21.30	22.50 (22.20)	-	5.6
単収(t/ha)	2.85	2.86	2.84 (2.83)	-	▲ 0.7

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」
「World Agricultural Production (July 2008)」
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly (July 2008)」

我が国の輸入先国シェア 3位（2007年数量ベース 7.4%）
世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 1.3%）
輸出量シェア 5位（2008/09年度 2.1%）

表-4 カナダの大豆需給（市場年度：8月～翌年7月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.5	2.7	3.1 (3.0)	-	13.3
消費量	1.9	1.7	1.7 (1.9)	-	1.9
うち搾油用	1.5	1.4	1.5 ...	-	6.4
輸出量	1.7	1.7	1.6 (1.6)	-	▲ 5.8
輸入量	0.2	0.2	0.4 (0.5)	-	66.7
期末在庫量	0.7	0.2	0.2 (0.1)	-	34.2
期末在庫率	18.4%	4.7%	6.4% (2.9%)	-	1.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.20	1.17	1.21 (1.20)	-	3.4
単収(t/ha)	2.88	2.31	2.53 (2.53)	-	9.5

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」
「World Agricultural Production (July 2008)」
AAFC 「Pulse and Special Crops Outlook (2008-07-02)」

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、北東部の作付け面積の増加と昨年度干ばつにより低下した単収の回復が見込まれることから、前年度より2.5百万トン増加（18.5%）し、16.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加等から前年度より2.7百万トン増加（5.4%）し、51.1百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年と同水準の0.4百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は搾油用需要の増加に伴い1.1百万トン増加（3.2%）し、35.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.1百万トン増加（4.5%）し、1.9百万トンとなるものの、期末在庫率は消費量も増加することから前年度と同水準の3.6%となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国北東部の産地では、3月は干ばつ傾向が見られたものの4月の降雨で改善され、大豆の作付けは順調に終了したが、いくつかの地域では低温などから発芽が遅れている。北部の主要産地では春植え大豆及び小麦の裏作の大豆ともに作付に適した天候となっており、土壌水分も十分である。

【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付取消しと輸出税を課している。

オ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、価格高騰による作付け拡大などから前年度より1.0百万トン増加（2.1%）し、48.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加から前年度より1.1百万トン増加（3.0%）し、38.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、消費量の増加するものの、前年度並みの12.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン減少（▲1.3%）し、22.0百万トンとなり期末在庫率も43.1%（1.6ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、輸出量を1.1百万トン上方修正し、消費量を0.8百万トン下方修正した。

【生育進捗状況及び作柄】

アルゼンチンの大豆の作付けは、11月頃から始まる。

なお、昨年度（2007/08年度）は、開花期の天候不順で生産量は前年度を下回った。現在は収穫は終わったところ。

【貿易情報】

アルゼンチンについては、輸出税を課している。

我が国の輸入先国シェア 4位（2007年数量ベース 3.3%）
世界の生産量シェア 4位（2008/09年度 6.7%）
輸入量シェア 1位（2008/09年度46.5%）

表－5 中国の大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	15.2	13.5	16.0 (16.4)	-	18.5
消費量	45.4	48.4	51.1	...	5.4
うち搾油用	35.5	38.4	40.8	...	6.3
輸 出 量	0.5	0.4	0.4	...	8.6
輸 入 量	28.7	34.4	35.5	...	3.2
期末在庫量	2.7	1.8	1.9	0.0	4.5
期末在庫率	5.8%	3.6%	3.6%	0.0	0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	9.10	8.70	9.40 (9.35)	-	8.0
単収(t/ha)	1.67	1.55	1.70 (1.75)	-	9.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 2008)」

世界の生産量シェア 3位（2008/09年度20.2%）
輸出量シェア 3位（2008/09年度16.0%）

表－6 アルゼンチンの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	48.8	47.0	48.0 (50.4)	-	2.1
消費量	35.1	37.6	38.7	▲0.8	3.0
うち搾油用	33.6	36.1	37.2	▲0.8	3.0
輸 出 量	9.6	12.2	12.2	1.1	0.0
輸 入 量	2.0	2.5	2.7	0.2	8.2
期末在庫量	22.6	22.2	22.0 (27.0)	-	▲1.3
期末在庫率	50.6%	44.6%	43.1%	▲0.2	▲1.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.30	16.80	17.10 (17.50)	-	1.8
単収(t/ha)	2.99	2.80	2.81 (2.88)	-	0.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 2008)」